


 野草資源を見直す



野草資源の活用方法

刈り取った草は冬場の牛馬の飼料の他にも、茅葺き屋根の材料、そして堆肥として昔から利用されてきました。しかし、生活様式や農畜産業をとりまく環境の変化により草原の野草の利用は減少するとともに、採草作業を行わない野草地が増えていきます。

10
 2007 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8 体育の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

阿蘇の草原再生事業のご紹介 7 野草利用の促進を支援

阿蘇地域では野草からエネルギーを作り出す等、野草資源を見直す取り組みが進められています。採草の促進も草原保全につながるため、環境省は野草の利用拡大に対する取り組みを支援しています。野草堆肥を利用する取り組みに対する支援活動、また、野草利用の普及・啓発を目的に「野草堆肥利用マニュアル」を作成し、配布しています。

阿蘇ならではの風景



橋本隆男（ハシモトタカオ）

阿蘇ならではの草原景観

冬は草原の草が枯れてしまうため秋に大量の草を刈り取って保存します。草小積みは干し草を保存するための先人の知恵であり、阿蘇の風物詩の一つです。以前は秋の採草の季節になると、この草小積みを草原内のいたるところで見ることができました。

11月

2007

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 文化の日
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24
25	26	27	28	29	30	

阿蘇の草原再生事業のご紹介 8 グリーンワーカー事業



最近では刈り取った草を車に積んで持ち帰るようになったため、草小積みを見られる機会が減りました。環境省では、グリーンワーカー事業で地元牧野組合の協力を得て、ミルクロード、やまなみハイウェイ等多くの観光客が訪れる場所に草小積みを配し、訪れる人々に昔の利用を知り、草原の利用について考えてもらっています。